

6月24日（木）夏のつどい特集号の裏側で…

さまざまな行事が学校では繰り広げられています

学校というのは、1週間同じ時間割で過ごすことがないぐらい様々な行事が入ってきます。先生方も、その対応にベストをつくし、がんばっています。それが学校なんだと改めて感じます。

この夏のつどい特集号をホームページで紹介する合間に、子どもたちもいろいろな行事や学習の中で成長する姿を見せてくれます。紹介します。



川合小との交流学習（6月22日（火））

本校の2年生が他校との交流学習を行いました。川合小へ行って、一日同じ2年生と過ごす体験をしました。私の方も図工におじゃまして2年生の子のできた作品はどれかなど黒板を見ました。2年生はそれぞれが個性豊かな絵を描きます。また、子ども同士ですのでもとても上手に関わり合っていました。この交流学習は今後も続けていきます。

5・6年生タブレット学習

一人一台のタブレットが大田市にも配付されました。本校にもこのICTの波が押し寄せています。今後、子どもたちは中学・高校になってもこのパソコンを使う授業は増えていくと思われまます。その小学校段階では…ということで、5・6年生はタブレットを利用して授業が始まりました。私は授業を見にいけませんでした。担任が写真を撮ってくれましたので紹介します。



今後、タブレットを利用した授業がますます増えていきます。



現在は、ドリル学習のようなものが主ですが、今後は「プレゼンテーション」や「ノート」代わりに他の人たちと交流できるようなソフトも利用できるようになります。

6月23日(水)「ゆうすげ」のポット植え替え



10月に三瓶の三校交流を行って、「ゆうすげ」を三瓶西の原へ植える予定でいます。その前として、ゆうすげ一株をポットに植え替える作業を行いました。御存知の方もいらっしゃると思いますが、「ゆうすげ」は左のような花です。しまねレッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されています。これを三瓶に日本一の数を植えようという試みです。



なかなか紹介する機会がありませんでしたが、春先に地域の伊藤さんが「ゆうすげ」をもってきてくださり水やりをして育ててきました。

地域の方の協力はとても重要だと思っています。ゆうすげのポットへの移し方を教わっている様子です。その後、ポットにた



くさん移し替え始めました。始めは不器用でも、子どもはだんだん上手に移し替えができるようになります。「なえがうまくたたない！」といいながら何度も工夫して上手になります。全部で250あまりを1時間で作りました。毎日、水をやっています。10月に三瓶山に植える予定です。また報告します。



